

# アジア地域の経済統合に関わる 金融経済問題の検討

所属・氏名：人間社会研究域経済学経営学系・塩谷雅弘

**研究課題**：特に、以下の問題についての検討を重点的に行う。

- ・アジアの**経済統合**.....貿易統合と金融統合の状況と統合化の要因は？
- ・アジアの**マクロ金融リンケージ**.....金融と実体経済の連関性の状況は？
- ・**グローバル流動性**とアジア経済.....国際資本市場がアジア経済に与える影響は？

## 研究の背景・イントロ

ヒト、モノ、カネの国境を越えた移動が活発になっている。アジア地域では、**グローバルな金融取引の拡大**に加えて、多国籍企業による**国際的生産ネットワークを通じた生産活動**によって、経済統合化が進んでいる。

どんな経済統合が、どの程度進んでいるのか？ どのような状況下で、より経済統合化が進むのか？ 経済統合化の進展によって、人々の暮らしはどんなふうになるのか？

こうした問題について検討する。

## 研究方法

・アジア地域における**貿易や金融を通じた経済統合**の状況を調査する。経済データに基づく調査。

・貿易や金融を通じた経済統合が進展する要因を理論的および実証的に検討する。

・貿易や金融を通じた経済統合が人々の暮らしに与える影響を理論的および実証的に検討する。

特に、**銀行貸出先の変化(企業向け⇒個人向けへ)**を通じた影響や**国際資本市場との関連**について検討する。

## 研究の結果①

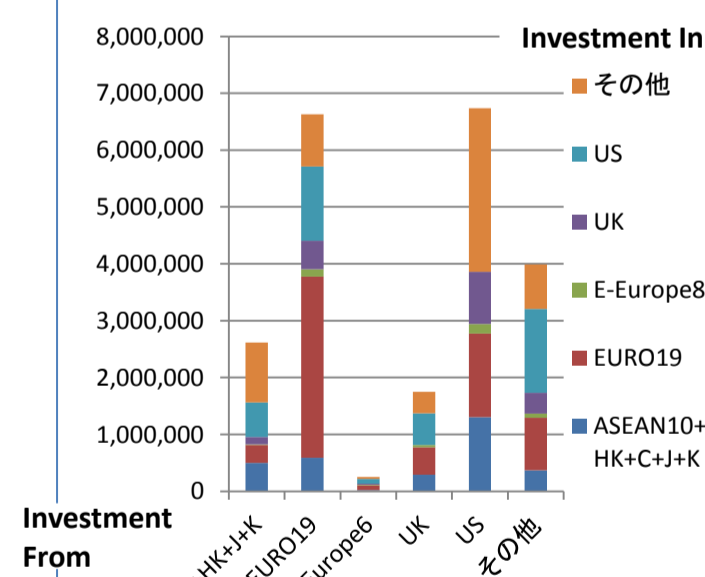
・アジア地域の経済統合は、貿易統合は比較的進んでいるが、**金融統合は直接投資以外あまり進んでいない**(右の図1)。

・企業の設備投資は伸びない中で、企業の資金需要は企業内の直接投資で足りているよう。アジア地域で、**銀行は貸出先を企業向けから個人向けに移す傾向が確認できる**(右の図2)。

・銀行が貸出先を企業向けから個人向けに変更させているところほど、**景気循環は金融要因、特に住宅市場の影響を受ける**ことが多くなる(Enya, 2016)。また、住宅市場は**外国からの銀行ローン**の影響を受ける(Shinkai and Enya, 2014)。

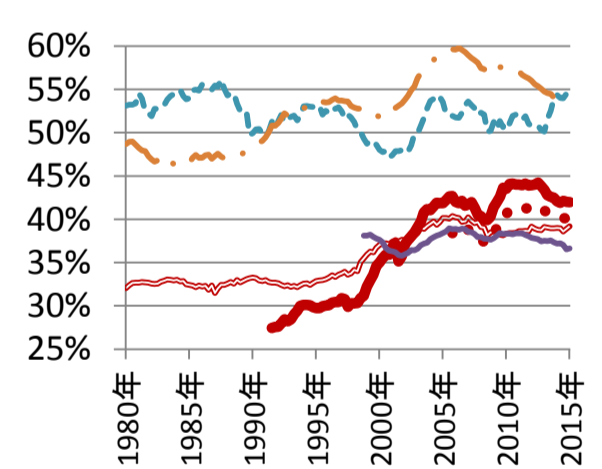
## 研究の結果②

図1 株式投資 2014年末 (100万USドル)



注：ASEAN5はシンガポール、タイ、インドネシア、マレーシア、フィリピン。HKは香港、Jは日本、Cは中国、Kは韓国。  
出所：IMF, Coordinated Portfolio Investment Survey (CPIS, Table 11).

図2 家計向け貸出の割合



注：東アジア7：韓国、香港、シンガポール、タイ、インドネシア、マレーシア、中国。東アジア5は東アジア7からマレーシアと中国を除いたもの。  
出所：BIS, Credit to the non-financial sector.

## 関連文献

- ・Enya, Masahiro, Financial Cycles and Business Cycles in East Asian Emerging Economies: Features, Interactions, and Changes." *Kanazawa University economic review*, 36(2), 2016, 査読無(刊行予定).
- ・Shinkai, Jun-ichi and Masahiro Enya, "The Impact of Capital Inflows on Asset Prices in East Asia." *Discussion Paper Series*, No.22, pp.1-34, Faculty of Economics and Management, Kanazawa University, 2014, 査読無.
- ・Sugimoto, Kimiko and Masahiro Enya, "Global Liquidity and Drivers of Capital Flows to Emerging Economies." *The Eleventh Annual Conference of the Asia-Pacific Economic Association*, Taiwan National University, Taiwan, 9 July, 2015.